

国道477号四日市湯の山道路

要望書



工事が進む四日市湯の山道路から新名神高速道路・菰野IC方面を望む

平成29年11月

四日市インターアクセス道路整備促進期成同盟会
四日市商工会議所

要 望 書

平素は、国道477号四日市湯の山道路の事業促進に格段のご高配とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

四日市湯の山道路を含む四日市インターアクセス道路は、国際拠点港湾である四日市港や四日市市の中心市街地、菰野町を結び、東名阪自動車道や国道1号、23号など三重県北勢地域の幹線道路と一体となり、地域経済を支える道路として、また、住民生活を支える生活関連道路として、さらには湯の山温泉をはじめとする観光、景勝地へのアクセス道路として、地域の活性化を支える重要な道路であります。

しかしながら、現道では沿道開発が進み、交通渋滞が慢性化し、特に観光シーズンには激しい渋滞が発生するなど、住民の日常生活や地域の産業振興に大きな支障をきたしています。

このようななか、東名阪自動車道四日市インターチェンジから新名神高速道路菰野インターチェンジ（仮称）間（約9 km）においては、地域高規格道路として四日市湯の山道路の整備が鋭意進められています。おかげをもちまして、平成26年5月には、高角インターチェンジから吉沢インターチェンジ間（約4.4 km）が供用され、現道での渋滞が劇的に緩和されるなど、さまざまな事業効果が発現されています。

現在、整備が進められている新名神高速道路三重県区間においては新四日市ジャンクションから亀山西ジャンクション（仮称）間が平成30年度の供用予定と目前に迫っています。新名神菰野インターチェンジ（仮称）へのアクセス道路として四日市湯の山道路は必要不可欠であり、また、本年7月に準備会を設立した土地区画整理組合によるインターチェンジ隣接地への約17万㎡の工業系用地造成計画を具現化し、企業誘致を行う

ことで、産業発展に大いに期待できるため、新名神と同時供用できるよう、特に下記の事項を強く要望いたします。また、新名神菰野インターチェンジ（仮称）から湯の山温泉へのアクセス道路としての菰野バイパスは観光シーズンの渋滞緩和に寄与し、観光振興を支えるため必要不可欠であるので、特段の配慮を賜りますようお願いいたします。

記

- 一 地方が真に必要な道路整備を計画的かつ安定的に進められるよう必要な道路関係予算を確保すること。また、平成29年度補正予算を早期に編成し、必要な財源確保を図りつつ、平成30年度当初予算において道路関係予算所要額を確保すること。
- 一 四日市湯の山道路の平成30年度供用に必要な予算を確保すること。
- 一 四日市湯の山道路と一体となり整備効果を発揮する菰野バイパスの整備に必要な予算を確保すること。
- 一 生産性革命を後押しし、地域経済の活性化に寄与する四日市湯の山道路や菰野バイパスの整備を計画的かつ着実に推進するため、道路財特法の補助率等の嵩上げ措置を平成30年度以降も継続させること。

四日市インターアクセス道路整備促進期成同盟会

会 長 菰野町長 石原 正敬

副会長 四日市市長 森 智広

四日市商工会議所

会 頭

種橋 潤治

生産性革命を後押しする四日市インターアクセス道路 ~四日市湯の山道路、菰野バイパス~

物流の効率化が民需拡大を誘発し、国際競争力が強化されます。

多様な産業が集積する三重県北勢地域

石油化学、高度部材、電子、デバイス、半導体、自動車、自動車関連、電機、機械、食品……

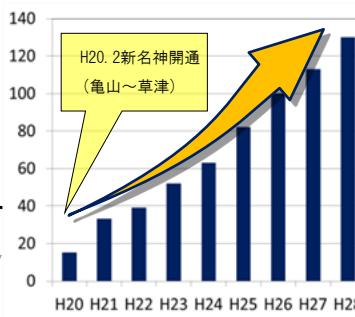
四日市港と四日市市街地、東名阪、新名神を連結し、物流を効率化！

- 民需開発効果の誘発
- 国際競争力強化

菰野IC周辺に工業拠点を計画



◆北勢地域の工場立地件数の推移



◆四日市港 新物流施設の整備(平成29年5月竣工)



四日市港の整備と合わせクルーズ船誘致

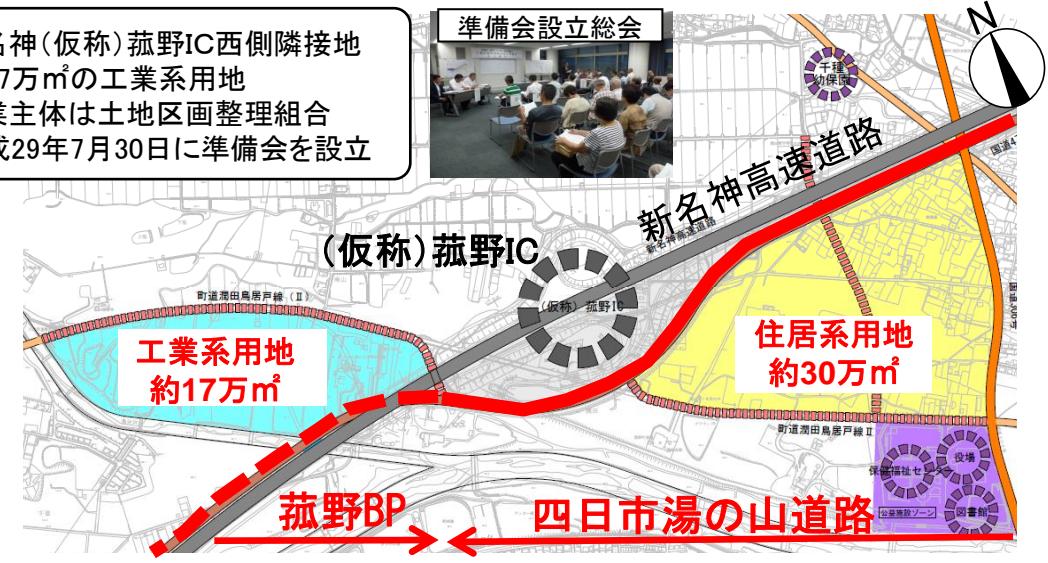
平成30年度外国クルーズ船初寄港(ダイヤモンドプリンセス他6回)



IC周辺に新しい工業系用地を造成し、地域経済の活性化に繋がります。

- 新名神(仮称)菰野IC西側隣接地 約17万㎡の工業系用地
- 事業主体は土地区画整理組合 平成29年7月30日に準備会を設立

準備会設立総会



湯の山温泉へのアクセスが向上し、インバウンド拡大が期待されます。

◆“雪山”として大人気の御在所岳

◆平成30年度の開通に向けた官民の取組

改修総投資額 約15億円

山上公園リニューアルイメージ

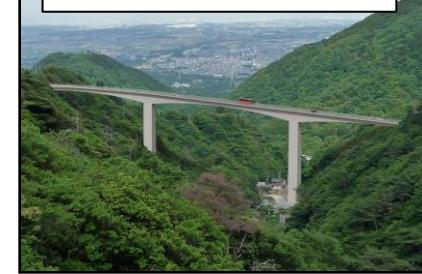


御在所岳は中部国際空港から最も近い“雪山”として外国人観光客に人気です。

- 御在所岳山上公園のリニューアルオープン(H30.7予定)(新型ゴンドラの導入、レストランの新設)
- 山麓駅舎(エレベータ設置、登山用品店の出店)
- 御在所ロープウェイの駐車場整備
- 湯の山温泉開湯1300年の記念事業(温泉博覧会)
- 鈴鹿国定公園指定50周年
- 新たなアクセスルート(湯の山大橋)の完成
- 外国人観光客への支援
 - 宿泊施設の指認証「ゆびクーポン」の登録
 - Wifi、多言語案内板の整備、インバウンド研修会の開催

◆アクセス向上による観光産業の活性化

(仮称)湯の山大橋完成予想図



湯の山温泉街へのアクセスとしてのダブルネットワークを構築する(仮称)湯の山大橋は平成30年度開通予定。温泉街への迂回路のない県道と国道を繋ぎ、渋滞の緩和、利便性の向上、災害時の安全性を確保する効果が見込まれる。四日市湯の山道路、菰野バイパスの整備とともに、温泉街へのアクセスとしての(仮称)湯の山大橋の開通は、未来の地域・観光振興の道筋になる。

高角~吉沢間の開通により現道の渋滞が緩和しました。



平成26年5月の部分開通以降、明らかに現道の渋滞が緩和された。特に朝夕のラッシュ時には救急車両の運行にも支障をきたしていたが、スムーズな搬送が可能となった。現場までの一層の走行時間短縮のため、四日市湯の山道路や菰野バイパスの早期全線開通をお願いしたい。

菰野町消防署員